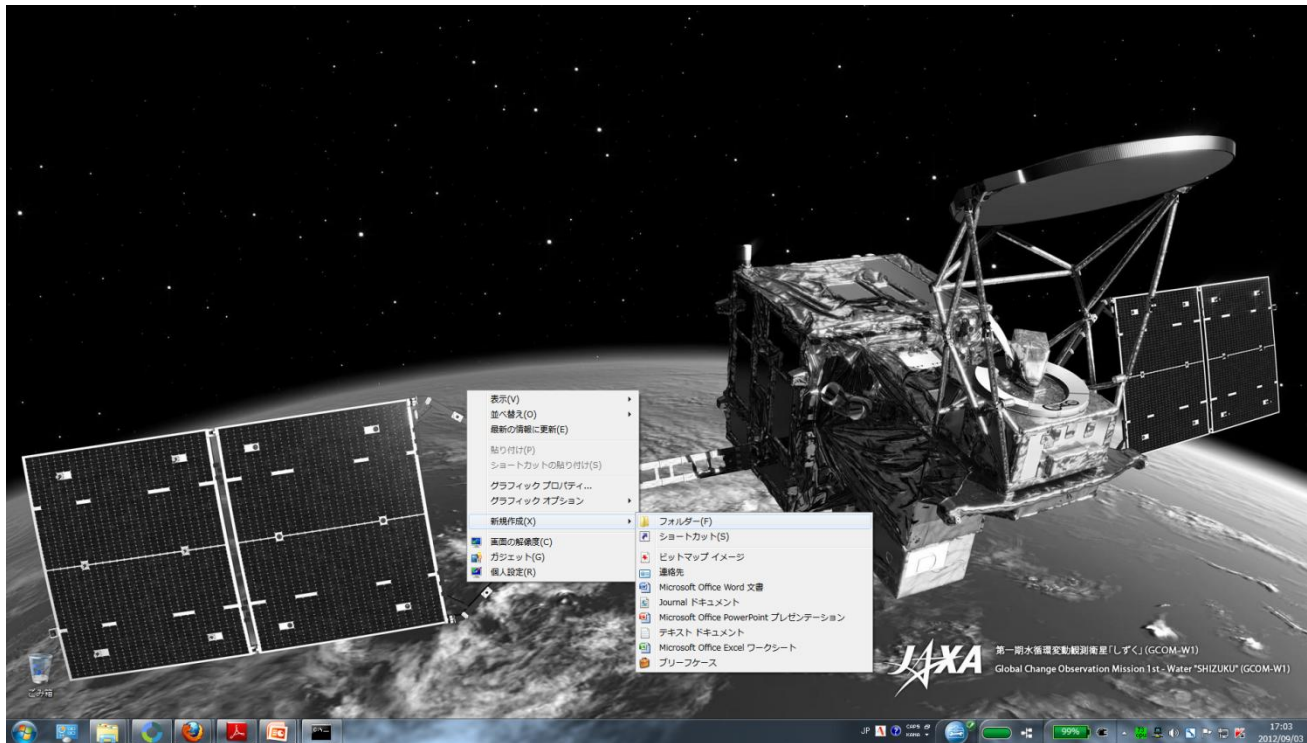


MS-DOSコマンドからWindowsでの作業を理解する。

何気なく行っているマウスクリックの裏側では、DOSコマンドによる作業が処理されている。今日はどのようなコマンドがあるのか、知っているかどうかという御利益があるのかについて紹介する。

Unix/Linux端末に触れている人はある程度わかるはず。現在のMac OSはUnixベースなので知っている人はいるかもしれない。

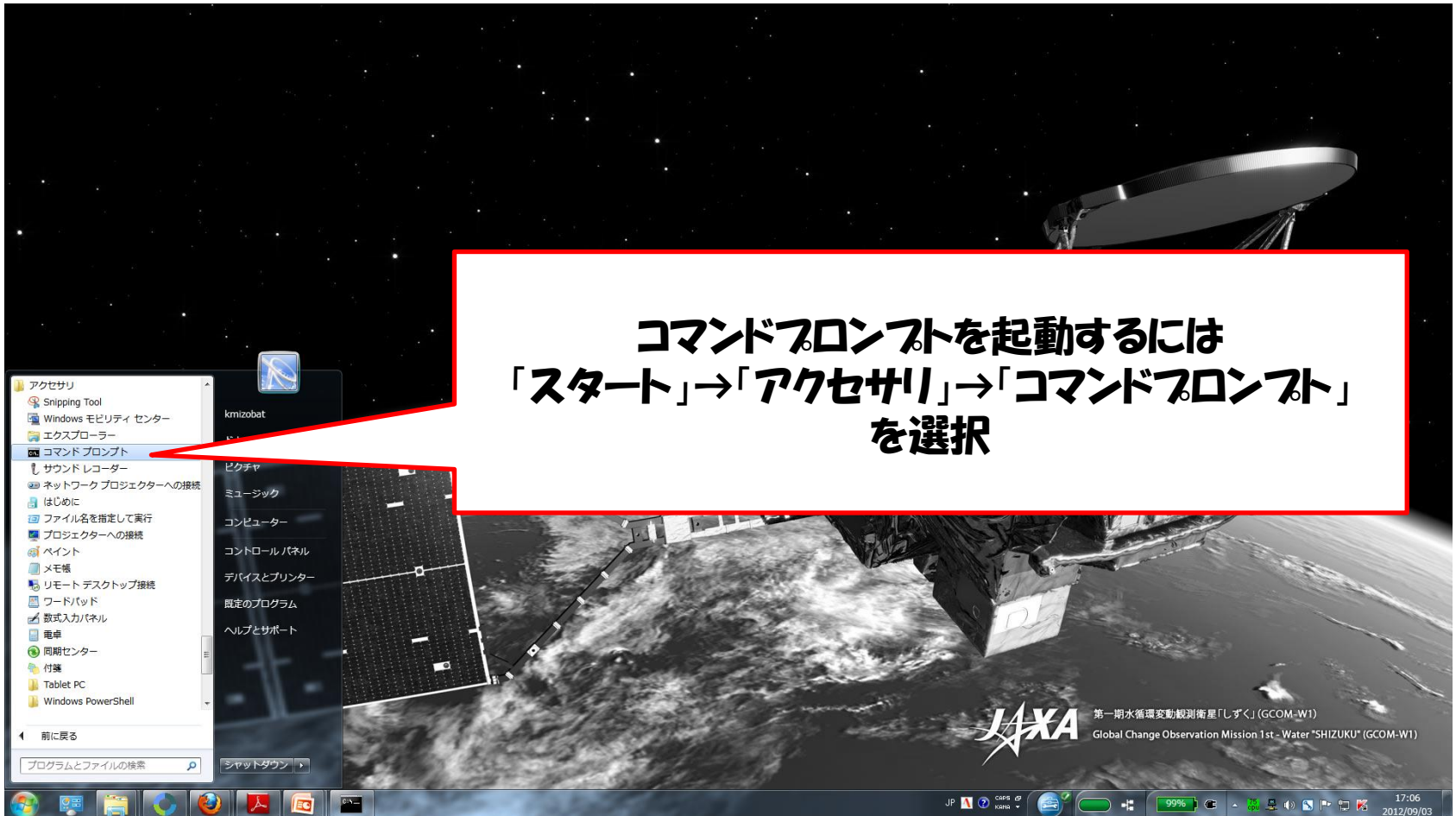


右クリックで
フォルダを新規作成
という作業も
裏ではMS-DOSコマンド
が走っている

Windowsの裏側を知る

まずはコマンドプロンプトから

コマンドプロンプトを起動するには
「スタート」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」
を選択



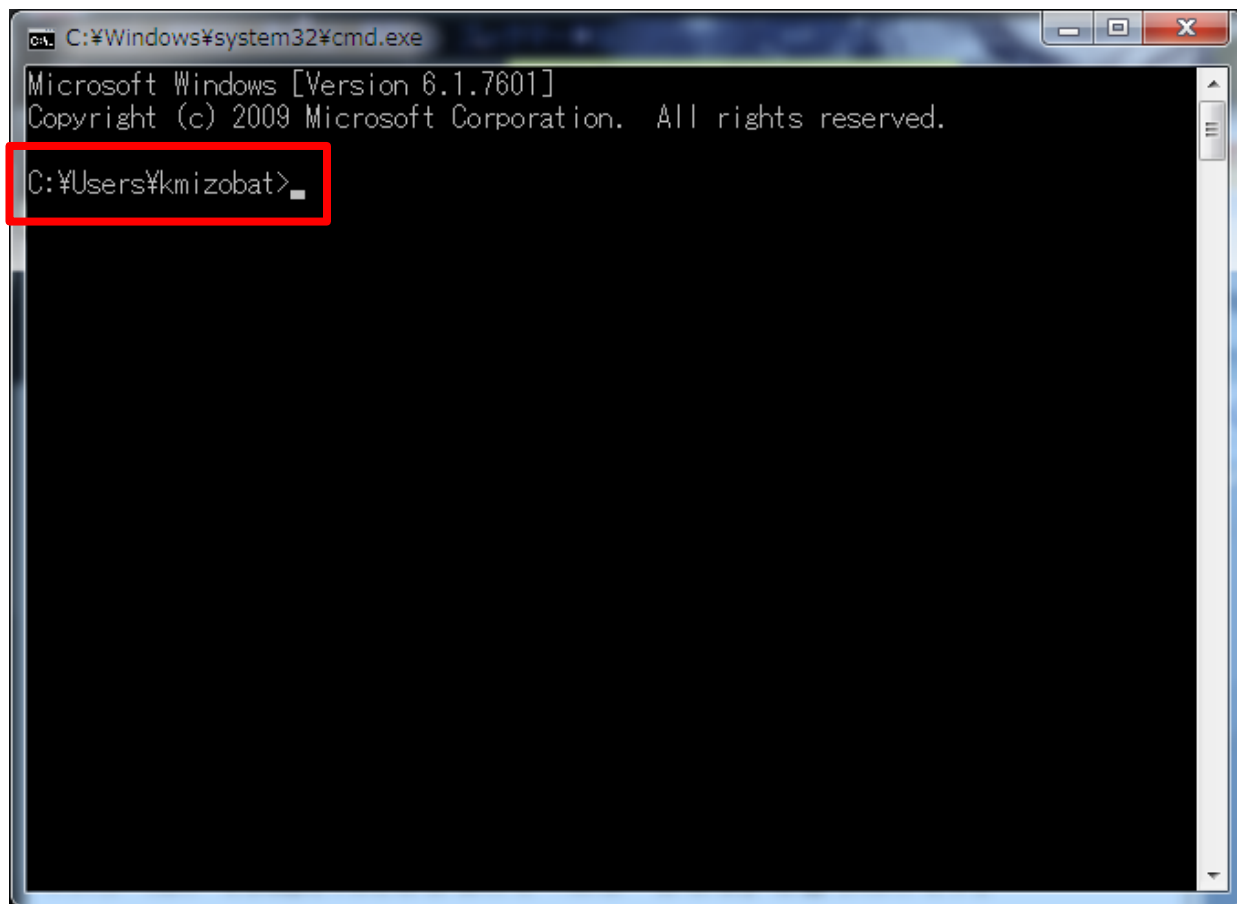
Windowsの裏側を知る

まずはコマンドプロンプトから

現在自分が
どのディレクトリ(フォルダ)に
いるかがわかる

例の場合は、
Cドライブ
Usersフォルダ内の
kmizobatというフォルダに
いる、となっている。

コマンドプロンプト上でMS-
DOSコマンドを入力すると、
返事が返ってくる。

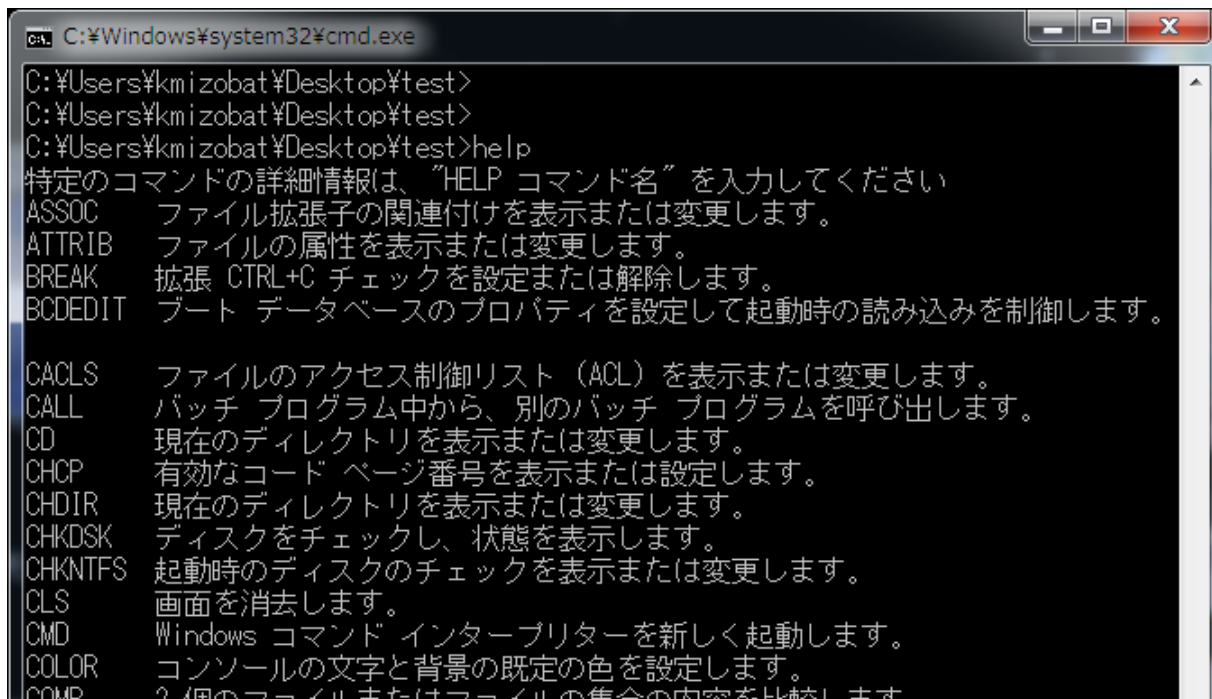


```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.
C:\Users\kmizobat>
```

コマンドプロンプトが立ち上がった状態

MS-DOSコマンドは便利

- 通常のWindowsでは、クリックしてはウィンドウを立ち上げ、という作業を繰り返す。しかし一つのウィンドウでだいたいの操作ができると楽。
- 必要な情報をコマンド一つで引き出すことができる。
- 未だにDOSベースのソフトを使う必要性が出てくる(こともある)
- 長時間のマウス操作がだるい→キーボードのみで操作したくなる人にもお勧め。

A screenshot of a Windows command prompt window. The title bar shows the path 'C:\Windows\system32\cmd.exe'. The command prompt shows the user's current directory as 'C:\Users\kmi\zobat\Desktop\test' and the command 'help' entered. The output lists various DOS commands and their functions in Japanese. The list includes ASSOC, ATTRIB, BREAK, BCDEDIT, CACLS, CALL, CD, CHCP, CHDIR, CHKDSK, CHKNTFS, CLS, CMD, COLOR, and COMP, each followed by a brief description of its function.

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
C:\Users\kmi\zobat\Desktop\test>
C:\Users\kmi\zobat\Desktop\test>
C:\Users\kmi\zobat\Desktop\test>help
特定のコマンドの詳細情報は、“HELP コマンド名”を入力してください
ASSOC      ファイル拡張子の関連付けを表示または変更します。
ATTRIB     ファイルの属性を表示または変更します。
BREAK      拡張 CTRL+C チェックを設定または解除します。
BCDEDIT     ブート データベースのプロパティを設定して起動時の読み込みを制御します。

CACLS      ファイルのアクセス制御リスト (ACL) を表示または変更します。
CALL       バッチ プログラム中から、別のバッチ プログラムを呼び出します。
CD         現在のディレクトリを表示または変更します。
CHCP       有効なコード ページ番号を表示または設定します。
CHDIR      現在のディレクトリを表示または変更します。
CHKDSK     ディスクをチェックし、状態を表示します。
CHKNTFS    起動時のディスクのチェックを表示または変更します。
CLS        画面を消去します。
CMD        Windows コマンド インタープリターを新しく起動します。
COLOR      コンソールの文字と背景の既定の色を設定します。
COMP       2 つのファイルまたはファイルの集合の内容を比較します。
```

**“help”と入力すれば
DOSコマンドリストが
左のように出てくる。**

MS-DOSコマンドは便利

基本的なコマンド

① **dir**

ディレクトリ(フォルダ)内のファイル情報を表示する。”/A” オプションをつけるとさらに詳細な情報が得られる。

② **cd(チェンジ ディレクトリ)**

“cd” のみの場合は、現在のディレクトリを表示する。

“cd ディレクトリ名” の場合は、ディレクトリを移動する。

一つ上に上がる場合は、“cd ..” とする。

③ **ドライブの移動:** “d:” とするとDドライブに移動する。

④ **mkdir 新しいディレクトリ名**

現在にディレクトリ(フォルダ)内に新しいディレクトリを作る。

「右クリック→新規フォルダの作成」と作業は同じ。

⑤ **copy ファイル名 ファイル名(もしくはディレクトリ名)**

ファイルをコピーする。

MS-DOSコマンドは便利

MS-DOSコマンドを使って、フォルダを作成し、ファイルをコピーしてみよう。

まずコマンドプロンプトを立ち上げる。

① Zドライブに移動

“Z:”と入力する。移動ができていれば、Z:¥>と表示されるはず。

② Zドライブ内のファイル情報を確認

“dir /w”と入力する。

③ Zドライブ内に新しいフォルダを作成

例) “mkdir test”と入力すると「test」という名前のフォルダが作成される。
不安であればエクスプローラーで確認すればよい。

④ Zドライブにあるファイル(どれでもよい)を、②で作成したフォルダにコピー

例) “copy sample.doc test”とすると「sample.doc」というファイルが、さきほどした「test」というフォルダにコピーされる。

MS-DOSコマンドは便利

MS-DOSコマンドを使って、ファイルを開く

start

さきほどZドライブでコピーしたファイルをコマンドプロンプトから立ち上げてみる。
ワードやPDFなどすでに拡張子で関連付けられているものはWindowsが勝手に
使用するべきソフトを選定してくれる。

使い方: "start ファイル名"と入力するだけ。

ちなみに"start . (ピリオドを入力)"するとエクスプローラーが立ち上がる。

MS-DOSコマンドは便利

MS-DOSコマンドを使って、ネットワーク関連情報を引き出す。

ipconfig

クリックのみでネットワーク環境からプロパティを参照するには4～5ステップの作業がいる。
ipconfigコマンドを使えば、IPアドレス、物理アドレス、その他のネットワーク環境がすぐに判明する。

研究室や企業のネットワーク環境を構築するときが必要。
各ネットワークカードには固有の**物理アドレス**が存在する。大学や企業のネットワークに参加するには、通常この物理アドレスの提出が義務付けられている。

またDHCP接続が一般的な自宅のネットワーク環境で毎回変わるIPアドレスを知るのに便利。

使い方は簡単。“ipconfig”もしくは“ipconfig /all”と入力するだけ。

MS-DOSコマンドは便利

MS-DOSコマンドを使って、とてあえずマシンの全情報を知りたい

systeminfo

いちいち一個ずつコマンドを打ち込むのはだるい、という人はsysteminfoをおすすめする。時間がかかる場合もあるが、ホスト名からOSのバージョン、システムの種類、ネットワーク環境などたいがいの情報が得られる。

使い方は簡単。”systeminfo”と入力するだけ。

**とにかくマウスを使わず、
キーボードだけでやってみる。**

**今回紹介したコマンドプロンプト + MS-DOSコマンドはほんの一部。
しかしながら日常の作業には事足りる。**

また、各ウィンドウの移動は「Alt+Tab」で行える。

**さらに言うとFirefoxのアドオンではすべてのリンク先に
数字を割り当てるといったものがある。**

つまりマウスはさほど必要ではない。

**マウスなしでどこまでできるか調べると意外と
Windowsの奥が見えてくる。**